

# 山行報告書

作成:2009年11月25日  
愛知岳連 岡崎山岳会

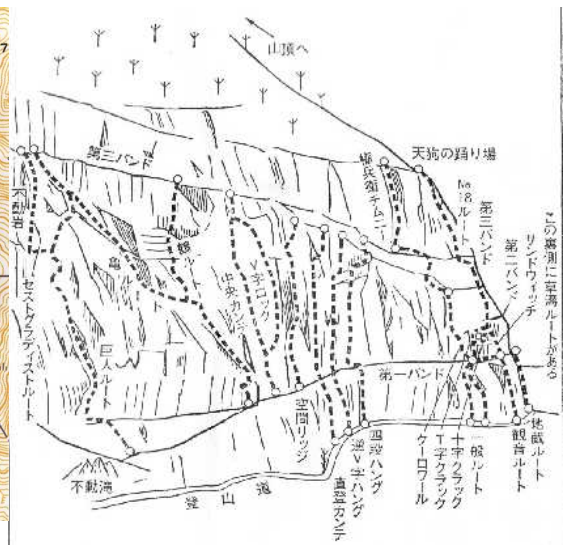
山名[山域]	三ツ峠山屏風岩(開運山 1786.1m)	目的[方法]	登攀を楽しみ三ツ峠山頂を踏む
期間	2009年11月14・15日	形態	前昼発日帰りピストン
参加人数	4人		

## 行動記録:

11/14(土), S山宅(12:25)= 村宅(12:45)=K藤宅(13:50)岡崎IC(13:55) = (3:05) = 御殿場 IC(17:00)= (0:20) =岩村PA(17:20) = (35)= 一宮御坂 IC(17:55) = (35) = 三ツ峠登山口 PKG(18:30 夕食後消灯 22:30)

11/15(日):晴れ(起床 5:30,7:40) -(1:30)- 木無山(9:10,9:20) -(0:10)- 三ツ峠山荘(9:30,40) -(0:10)- 御巢鷹山(9:50,10:05) -(0:10)- 開運山 1786.1m(10:15,23) -(0:17)- 三ツ峠山荘ランチ昼食(10:40,11:15)-屏風岩取付き(11:35)- 一般ルート登攀開始 12:00 -(0:50)- 第1バンド(12:50) -サンドイッチクラック(13:00) -(0:50)- 第2バンド(13:50 待ち) -(0:40)- 第3バンド(14:45,15:10) - 18ルート-(0:20)- 天狗の踊場終了点(15:30,45) -開運山(15:50) -荷物回収取付き(16:04,10) -三ツ峠山荘(16:25)- 三ツ峠登山口 P(17:20,17:40) == K藤宅(23:00) =I村宅(24:05) =S山宅(24:15)

## 概念図:



三ツ峠屏風岩概念図

## 日誌:

当初予定の湯股温泉手掘り露天風呂山行は昨日の大雨で水の底だろうと言うことで延期にし、3百名山の三ツ峠山登山と屏風岩試登に変更された、11/14 午後2時、K藤師匠夫婦に乗って頂き出発、一路岡崎ICから高速で御殿場ICに向う中、山、岩、沢、山スキー、の話で盛り上がった、137号を北上し東富士五湖道路の河口湖ICで出るつもりが出口が無い? 中央道に入ってしまったので岩村PAで調べると河口湖ICはハーフインターだった、北上は出れないのだ、仕方ないのでそのまま中央道を西方に進み一宮御坂ICを出て137号を南下、トンネルを出て東へ折れると三ツ峠登山口に到着、1つ区画を空けてPKG、空区画にイスパーズ4.5人テントを設営、そしてS山さん食当の夕食はお焦げご飯とちゃんちゃん焼、ホタテ、シヤク、シタケ、ニンジン、キャベツ、もやし、ちゃんちゃんの基を入れておいしくて3回戦も頂いた、コンビニ引きで当たった缶酎ハイを分けて乾杯、消灯22:30 すぐにウフウク-夢の中へ。

11/15は起床5:30、星が輝き晴れた、雑炊とラーメンで朝食の後、このひと糞ばりが今日のひと踏ん張りにつながる大キジを撃ち7:40 出発した、1時間30分程で木無山に到着、富士市の若者と話した後、北東に進むと10分で三ツ峠山荘に着きそのまま更に10分行くと御巢鷹山に着く、今度は南に10分戻ると最高峰の開運山 1786.1mに着き、この三山で3百名山三ツ峠山を登ったことになる。もう1つの目的の為、三ツ峠山荘から50m10分ほど達磨石ルートへ下降すると屏風岩が開運山の南面に幅200m高度差80mのフェースを構成して登える、ブッシュは無く快適でフリーから人口登攀、また難易度が異なる数多くのルートがあり、初心者から上級者までが楽しめるゲレンデでした、屏風岩に向かって東(右)へ行くほどやさしく、級になる、我々は右から地藏ルート、観音ルートの次の一般ルート+から取付き22m登ると第1バンドに出る、次にサンドイッチクラック チムニーを15m登ると第2バンドに出る次に凹角階段岩場を25m登ると第3バンドに出るそして最後4ピッチ目の18ルート・の階段状を35m登れば天狗の踊場の大テラスに出て登攀終了となる、そこから5分登ると開運山に立て、アルパインクライミングの面白みを感じました。

そのあとは取付きまで荷物の回収に下り、三ツ峠山荘までまた上り、三ツ峠登山口には17:20着で辺りは真っ暗闇でしたがライトは使わず無事下山した。高速は渋滞でK藤宅23:00着と遅くなったが本当にわくわく、どきどきした山行でした。

## 感想:

一般ルートは4ピッチ80mほどの級ルートだが登り終えたら、なんだか何もかも忘れて登攀に打ち込んで完登した充実した気持ちになった、これがアルパインクライミングのおもしろさだと感じました。  
3級程度のいろんなクラシックルートの登攀がやりたくなりました。